

# 東金市DX推進計画（概要版）

## ◆趣旨◆

DXの取組みを加速化、より効率的に推進するため、「東金市DX推進計画」を策定し、「市民サービスの向上」と「業務の効率化」を達成すべく、職員が一丸となってデジタル化に取り組みます。

## ◆計画の位置づけ◆

- (1) 本市が取り組むデジタル化の方向性を示す総合的な計画
- (2) 「第4次総合計画後期基本計画」等のデジタル化・システム化に関して本計画で整理

## ◆計画の期間◆

令和8年度から令和12年度までの5年間  
※「第4次総合計画後期基本計画」等の計画期間とあわせる。

## ◆本市のDXがめざす姿◆

### 便利になったと実感できるデジタル市役所の実現

～ 誰でも・いつでも・どこからでもつながる ～

## ◆3つ基本方針◆

## ◆※めざす姿（概要）◆

### 1 デジタル技術を活用した市民サービスの提供

#### (1) 行政手続のオンライン化の推進

- スマートフォン等でいつでも、どこからでも行政手続ができるようにします。

#### (2) 公金収納におけるeL-QRの活用

- 税金等以外の公金をスマートフォン等から納付ができるようeL-QRの活用を拡充します。

#### (3) 窓口でのデジタル化

- 「書かない・待たせない・行かない」窓口等のフロントヤード改革に取り組みます。

#### (4) 情報発信の強化

- AI等を活用しホームページの検索機能強化、SNS等により市の情報・魅力を発信します。

#### (5) マイナンバーカードの取得支援・利用の推進

- 交付や電子証明書の更新の需要増へ対応するための体制を見直します。

### 2 地域社会のデジタル化の推進

#### (1) 教育・保育におけるデジタル化の推進

- 学校の教職員や保護者の負担を軽減し、児童生徒の充実した学習環境を整えます。
- 保育所等のDXを推進し、保育士や保護者の負担を軽減します。

#### (2) 多様な主体との連携

- 多様な主体と連携し、スマートフォンの不慣れな方に操作講習会などを実施します。

#### (3) デジタルデバйд対策

- デジタル技術の活用で誰もが必要な情報やサービスを受けられよう取組を進めます。

#### (4) オープンデータの推進・官民データ活用の推進

- 本市のデータを公表し、市民や民間企業が活用できるよう対応します。

### 3 市役所内部のデジタル化の推進

#### (1) 自治体情報システムの標準化

- 住民記録や税情報システム等の基幹業務システムの標準化に対応します。

#### (2) AIの利用推進

- AIの活用を推進し、市民サービスの向上や行政事務を効率化します。

#### (3) セキュリティ対策の徹底

- 最新の動向を把握し、それに基づいたセキュリティ対策や運用方針を見直します。

#### (4) 職員の意識改革と業務改革(BPR)の取組の徹底

- 職員の意識改革を目的とした研修の実施、デジタルを活用した業務改革を進めます。

#### (5) ペーパーレスの推進

- 文書や決裁の電子化によるペーパーレス化・業務の効率化に向け検討を進めます。

#### (6) デジタル原則を踏まえた条例等の規制の点検・見直し

- 条例や規則等で義務付けられている目視などの規制について見直しを行います。

#### (7) 多様な働き方の実現

- デジタル技術を活用し、働き方やコミュニケーションの変革につなげます。

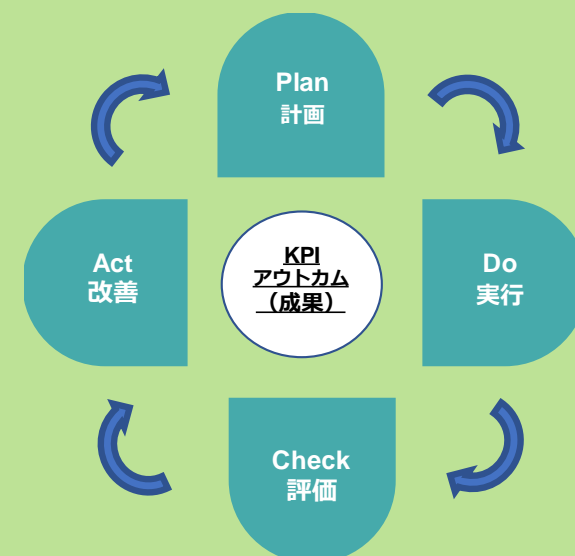
#### (8) 「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化等の推進

- 国が提供する自治体向けのアプリケーションに注視し、機能や費用を踏まえ積極的に活用していきます。

## ◆計画の進捗管理◆

本市のDX推進計画は、PDCAサイクルを活用し、具体的な成果指標（KPI）を設定することで進捗管理を徹底します。

これにより、計画の進捗状況を定期的に評価し、柔軟な改善策を講じながらDXを着実に推進していきます。



## ◆DX人材の育成◆

### ●DX推進員の配置

各課に1～2名程度のDX推進員を配置し、市のDX推進主管課である情報管理課と連携しながらDXを推進します。

### 【主な業務内容】

- ・所属におけるデジタル化の推進及び啓発
- ・所属における現場レベルの要望を集約し実現の方策についての協議
- ・所属におけるAIやビジネスチャットツールを活用した業務改善及び業務改革